

地域づくり活動NPO事業助成事業 実績報告

事業区分 (3 — 15)

団体名	(特非)シミズシーズ	代表者名	(職名) 代表理事	(氏名) 柏木 登起
事業名	対話と共創の文化をつくる「東播磨未来100人会議」の実施			

< 事業実施実績 >

年月日 定例は「月1回」 「毎○曜日」等で 記入	場所	参加者 一般 (スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広に記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
7月9日	東播磨生活創造センター「かこむ」ざわ ざわ	8 (2)	アドバイザー会議
7月14日	オンライン	2 (1)	アドバイザー会議
7月22日	東播磨生活創造センター「かこむ」ざわ ざわ	8 (2)	アドバイザー会議
8月8日	オンライン	9 (2)	プレゼンターエントリー説明会
8月19日	オンライン	8 (2)	アドバイザー会議
9月7日	オンライン	7 (2)	アドバイザー会議
9月12日	オンライン	26 (2)	第0回 集合研修 今後の案内とチーム体制について
9月20日	東播磨生活創造センター「かこむ」たば す	29 (2)	第1回 集合研修 顔合わせ会+理念講座
10月4日	東播磨生活創造センター「かこむ」たば す	27 (2)	第2回 集合研修 中間発表+相互フィードバック
10月12日	オンライン	5 (1)	アドバイザー会議
10月18日	東播磨生活創造センター「かこむ」たば す	25 (2)	第3回 集合研修 当日のプログラム説明(当日に向けての疑問解消+サポーター個別相談)
10月30日	オンライン	4 (1)	アドバイザー会議
11月15日	東播磨生活創造センター「かこむ」たば す	32 (2)	第4回 集合研修 リハーサル
11月25日	オンライン	4 (1)	アドバイザー会議
11月29日	東播磨生活創造センター「かこむ」たば す	22 (2)	会場設営+前日リハーサル
11月30日	東播磨生活創造センター「かこむ」たば す	139 (2)	東播磨未来100人会議 本番
2月8日	東播磨生活創造センター「かこむ」たば す	11 (1)	第5回 集合研修 ふりかえり会

<効果と成果>

当事業は当日の開催だけではなくプロセスにも重点を置いた取り組みです。全体を通して「 つながりを深める」「 社会課題の可視化」「 つながりを広げる」この3点において、成果を生めたと考えます。当日に向けたプロセスを通してプレゼンター14名とサポーター8名、さらにそれを支えるアドバイザー・メンターなど総勢28名で計4回の集合研修のほか、各チームでの壁打ちセッションを行いました。当日100人に向けて限られた時間で社会課題の現状を伝えるため要点をどれだけ絞り込めるか（社会課題の可視化）に注力しました。これらを通じて関係者同士の「つながりが深まり」開催後には教育関連のイベント、農産物の現状を問う企画など多くの事業が自律分散的に立ち上がり続けています。当日は関係者を含む139名が一堂に会しました。プレゼンター・サポーター・参加者のそれぞれから「これだけの人が地域のことを想い行動している人がいることに驚いた。この人たちがいるなら、自分にもできそうな気がする」という声が多く聞かれました。地域をより良くしたいと思っている人が互いの存在を知らず「分断」されていることで、課題意識があっても踏み出せない人が一定数いたことがこの東播磨地域における課題であったといえます。あらゆる領域をブリッジさせることができれば「地域効力感」が高まり、地域全体のプレイヤー数・活動量を増やしていくことにつながる必要があるということが再確認できました。

<今後の展望>

今回の実施で明確になった課題の一つはエントリー時点におけるプレゼンターのステージの設定です。4年ぶりの開催ということもあり、改めて企画をゼロから見直しました。そのためプレゼンターのステージ（活動規模や実現状況）はあえて細かく定めず、広く社会課題を解決したい人を対象に募集をかけました。プロジェクトを運用していくなかで、プレゼンターの経験や活動規模の違い、基礎的なPCスキルなどの違いが明確になっていきました。サポーターで入っているメンバーから、どこまでをプレゼンターに求めればいいのかのゴール設定が分からず難しさを感じさせてしまいました。こういった背景もあり、当日はプレゼンテーションの枠を2段階構えとしそれぞれにあった発表の場を設ける対応を行いました。今後は、プレゼンターのエントリー（募集）時点からプレゼンターに求めるステージ設定を明確にすることで、サポーターのゴール設定も明確にでき、プレゼンター同士の刺激や相互の連携も促進できるのではと考えます。

<収支決算書>

（収入）

項 目	金 額（円）
地域づくり活動NPO事業助成金	350,000
参加費収入等	361,122
合 計	711,122

（支出）

区分	項 目	金 額（円）	左のうち 助成対象金額
直接 経 費	人件費	630,588	302,186
	旅費交通費	2,720	
	印刷製本費	13,420	13,420
	その他（消耗品費等）	34,394	34,394
	小 計	681,122	350,000
間接経費（一般管理費）		30,000	
合 計		711,122	350,000